



ハロードリーム憲章

Philosophy of Hello Dream

人は一人では生きていけません。
誰かが、よりよく人と関わり
お互いの個性を理解し、受け入れ、
強みを分かち合い、弱みを補い合い
生きていることを心から喜べる毎日過ごす権利を持っています。
命の尊さを感じながら、今、生きている自分を
そして、周りの命を祝福するために
ハロードリーム憲章を定めます。

1 自分となかよく

世界でたった一人しかいない自分の心とからだを大切にしよう！
生まれてきて良かったと感じられるように、自分の可能性を信じよう！

2 みんなとなかよく

64億人の中で出会える人は、何人いるだろう？
家族や友だちと話し合い、話を聴いて、つながりを大切にしよう！

3 文化となかよく

心を豊かにしてくれる文化は引き継がれてきた宝物！
日本や世界の文化にふれて理解し、今度は自分がバトンを渡そう！

4 世界となかよく

何かが違うからこそ学ぶこと、分かち合えることがある！
それぞれの国の素晴らしさを敬い、笑顔でつきあおう！

5 地球となかよく

私たち人間も大自然の一部、地球という美しい星の住人。
かけがえのない地球のためにできることから始めよう！

「みんなの笑顔のために」
すべての人が、「生まれてよかった」と
思える世界を実現するために、その
第一歩として『こどもの夢をはぐ
くむ社会になる』ことを目指しハロ
ードリームプロジェクトはたちあがり
ました。
こどもたちには、夢を描くワーク
ショップや、描いた夢を体験できるプ
ログラムを。大人には、お父さんお母
さんのための子育て応援セミナーや、
親子で体験するプロジェクト、そして
祖父母親子がつながることができ
る三世イベントなど、さまざまな
ワークショップが開催されています。
全てはみんなの笑顔のために。ハロ
ードリームは『夢』を通して『こども・
大人・企業・地域・世界』をつなげる
『かけはし』を目指しているそうです。
左にあるのはハロードリームの核に
なるハロードリーム憲章です。この憲
章が出来たきっかけは、サンリオの社
長の辻信太郎さんが示した以下の言
葉だそうです。

その言葉とは、なかよく・たのしく・表
現するといったgreatingメッセージで
す。この言葉がハロードリームが出来
る前からずっと小巻さんの根にあり、
『なかよく憲章』みたいなものがあれ
ばいいなと思っていたのがここで形に
なったそうです。この憲章は自分と仲
良くすることのみならず仲間と仲
良くして家族を初め、学校、地域、社会、
日本、世界とさまざまな文化と仲良
くすること、今自分がここにいること
を受け入れられたらいいな、と。もし
かしたら決して幸せとは言えない環
境下に生まれてしまった子もいるかも
しれない。けれど、そんな状況だから
こそ、それを受け入れて自分出来る
ことを探せるかもしれない。受け入れ
るつて『こい大切なこと』であると。
さらには、巡りめぐってまた自分と仲
良く出来たらという循環を願ったメッ
セージであるそうです。人は一人では
生きていけない、だからこそ、この憲章
を通して多くのつながりを大切にして
ほしいなという思いが込められていま
す。

笑顔のコーチング

その場所・地方独特の笑顔のスイッチ

山梨県『富士山』、静岡県『お茶』、佐賀県『サ
ガン鳥栖(サッカー)』など。
『お花茶系、赤ちゃん系、動物系』は全国共通の
笑顔のスイッチかもしれないみたいです！

面白かった笑顔のスイッチ

一番印象に残っているのは、京都北山開催で
の『マンホールの蓋』です！それから意識して
下を向いて観察してみると確かにマンホールの
蓋って、地域の特色が出ていて面白い！
「下ばかり向いてないで、少し顔を上げてと笑
顔のスイッチがたくさん見つかります」とい
うメッセージを「笑顔のコーチング」でお伝えし
ているのですが、もしかしたら足元にもたくさん
のスイッチがあるの！と新たな視点を持つこ
とが出来ました。(石田さん)



← 笑顔のコーチング様子

開催 イベント例

「笑顔のコーチング」講座とは、一言で言えば家庭や職場でお互いの笑顔
を引き出し、関係を良くするコミュニケーションの方法を紹介する体験型
の講座です。毎日の暮らしで、笑顔を増やすためにはどうしたらいいかと
いう思いから始まったこの講座は、子どもからお父さんお母さん、そして
おじいちゃんおばあちゃんまでどなたでも楽しく参加出来る2時間
のプログラムです。そして、誰もが気軽に参加出来るエクササイズを通し
て、身の周りにあふれている笑顔になるきっかけを探そうというものです。
一般的にコーチングとは、一人ひとりのやる気や可能性を引き出すため
のものです。この『笑顔のコーチング』は、お互いの笑顔を引き出します。

『花と笑顔』こども絵画コンクール 表彰式

先日、八月四日(土)に、「花と笑顔」こども
絵画コンクールの表彰式が小田急百貨店
にて行われました。「花と笑顔」こども絵画
コンクールは今年で四回目を迎え、今年度
は全国から四六一点もの応募がありました。
このコンクールのテーマとしては、「笑顔に
したいあの人へ、花の絵をプレゼント」とい
うことで、身近な人への感謝の思いや、大好
きなお友達への思い、そして、被災者の方へ
の思いが詰まったものなど、さまざまな作
品がありました。そして、この日は、数多く
の作品の中から小田急百貨店賞に選ばれ
た六人のこども達が表彰されました。こども
達の様子はどうかと、ドキドキしている
子もいれば、両手をびしっと横でそろえて
いる子もいたり、インタビューに答えるた
めに用意してきた紙を大事に持っている子
もいました。みんなとても緊張していたよ
うです。しかし、そんな姿も可愛く見えて
しまいますね。ここで、二人の入賞者の子
の絵を描いたときの思いを紹介します。
【受賞名・氏名・作品名・誰に送りたいか・メッ
セージ】



← 飯島正優くんの作品

のプリンちゃん ひまわりの種が大
好きだったプリンちゃん。元気だっ
た頃、プリンちゃんのためにひまわ
りを育てたけど、とちゅうで枯れ
ちゃってごめんね。種いっぱいひ
まわりを送るから、天国で食べて
ね。
小田急百貨店一ちゃん賞：飯
島正優くん(九歳)。「トランポリン
フラフーズひさい者の人たち」明
るくて、楽しそうな思いを表現
してひさい者の人たちによるこん
でもらえるようにえがきました。

↓ 表彰式の様子



↓ 出口花音さんの作品



まだまだ他にも・・・

「11月1日は夢の日」イベント

1年に一度立ち止まって夢について考
えるプログラム。夢を描くワークショップや、
笑顔のコーチング～夢の日バージョン～、
夢のコンサートなど全国各地で夢につ
いてのイベントを開催！

親子イベント

親子がお互いを知り、絆を深めあうワー
クショップ！

For Smile

障害を持つお子さんを授かったことのあるお母さん、DV経験のある方、趣味の場
や夢を描く場を一緒に作ります。

VOICE

～実行委員の方に質問してみました！～

代表理事：小巻亜矢さん

Q みなさんに伝えたいことは何ですか？

A ハロードリームがみんなのものになってほしいって思っています。これまで、私を初め、理事が主体でしたが、また、ハロードリームがもっと広がってほしいとも思っています。けれど、活動が強制的にはならないでほしいです。もし、イベントに誘ったときに、「他のセミナーがあるから」と断られたとします。その時「なんでそっちに行ってしまうの？」ではなく、そのセミナーが楽しいといいね、素敵であるといいねと心から思える、そんな気持ちでいてほしいです。それが、自分と仲良く、みんなと仲良くであると思うから。私はそれが、ハロドリらしさだと思います。これを、ハロードリームに関わる全ての方に伝えたいです。

Q 夢はなんですか？

A 直近の夢としては大学院の修論を書き終えて、自己理解のプログラムに反映させることです。また、ハロードリームとしては、第1回夢の日に宣言したのですが、キャラクターズサミットを形にしたいと考えています。世界各国で自分の好きなキャラクター、もしくは自分が考えたオリジナルキャラクターに世界の問題や自分の思いを言ってもらえるような機会を作りたいなと思います。実はこの企画自体は5年前から始まっているのだけど、これをきちんと形にしたいです。あとは、60歳で再婚！還暦という漢字の通り、もう一度生まれ変わる転機に、第二の人生をパートナーと共に生きてみたいです。



理事・実行委員長：浜本敬さん

Q 浜本さんの夢はなんですか？

A 過去、現在、そして未来へと続く夢…。2008年8月＝私の60歳の誕生月、私はそれまでの仕事生活における基盤にして、主な活動拠点となる私塾＝共育塾いろり＝を開塾し、それを主宰している。その場にはいつも愉快的な学習仲間が集い、各々の持ち味を発揮しながら、全員で協働して明日に向かって三つの種(※)蒔きをしている。この私塾における私の役割は、誰もが安心して快活に体験学習出来る場(環境)を整え提供することだ。(ここでいう三つの種とは、「希望のタネ」、「笑いのタネ」、「思いのタネ」である。)そして、それぞれの意図・目的は次の通りである。「希望のタネ」を蒔く時の目的は、ビジョン・コーチングによって次世代の「夢」を育むこと。「笑いのタネ」を蒔く時の目的は、大人の「笑顔」を呼び戻し、子供の生きる力を育むこと。「思いのタネ」を蒔く時の目的は、一人ひとりの「自己実現」に向かう「意欲」を引き出すこと。還暦を迎えた今、こんな「夢」をありありと描いている。



副実行委員長 石田智子さん

Q 石田さんの夢はなんですか？

A 夢と笑顔をつむいで、「しあわせ」な社会を創ること。その為、夢のスタートラインに立ち続ける私で在ることかな。

Q この新聞を読まれる方へ、何か伝えたいことなどがあればお願いします！

A 「口角を今より2ミリだけ上げていこう♪」



2012年9月6日 編集後記
今10日間ハロードリーム実行委員会にインターン生として仕事やイベントに携わらせていただきましたが、率直に、日々素敵なお話を聞くことが出来て良かったなと思えました。中でも全体的に感じたことは、ハロードリームはまだまだ大きく成長している途中だけれど、だからこそ少しずつ成長している経過を皆で体感しているのかな、ということでした。昔はこんなだったのね、なんてお話を聞くと私も嬉しくなっていました。こんなに素敵なイベントがたくさんあるのです。もっともっと多くの方にこの活動を知ってもらいたいのです。そして、今後のハロードリームの成長を見守っていききたいなと思います。素敵なご縁に感謝いたします。ありがとうございました。

2012年9月6日 藤田 祐里

ハロードリーム実行委員会 ～実行委員会潜入～

八月十一日(土)、ハロードリームの中の実行委員によって組織されている実行委員会が開かれました。この日の議題は「夢の日ウィーク」関連イベント実施計画について、Facebookページの有効活用について、さらに実行委員会活動の周知や広報の在り方を検討するといったものでした。まずは、十一月三日に開かれる夢の日イベントの日時、場所の決定確認から始まり、当日のタイムスケジュールを組んでみたり、参加者へのプレゼントの話など、実行委員それぞれの夢の日イベント成功のために、たくさんのお話を聞かれました。また、Facebookページの有効活用について、近況SNSが普及して便利になった反面、情報の扱いに気を付けていかなければならないね、といった新たな視点で広報の見直しをされています。また、最後には実行委員会内でも、なにか共通したテーマみたいなものがほしいという話になり、実行委員の杉村さんがマインドマップを使ってみんなで考えてみよう！と提案され、ホワイトボードを使用してみんなで意見を出し合いました。マインドマップというのは、イギリスのトニーブザンが発案した手法であり、人間の脳の構造に基づいた国際的な思考ツールで、様々な場面に活用出来るそうです。具体的な場面では、アイデア出し、情報整理、コミュニケーション、受験勉強や知識記憶などといった幅広いところで使われるそうです。テーマ一つを決めるのにも、こういった方法で話し合っていくところが、とても素敵だと思えます。会議って意見を出すと、結構遠慮だったり、恥ずかしさもあると思うんです。間違っただけのこと言っちゃったらどうしよう、みたいなこと、あると思いません。

八月十一日(土)、ハロードリームの中の実行委員によって組織されている実行委員会が開かれました。この日の議題は「夢の日ウィーク」関連イベント実施計画について、Facebookページの有効活用について、さらに実行委員会活動の周知や広報の在り方を検討するといったものでした。まずは、十一月三日に開かれる夢の日イベントの日時、場所の決定確認から始まり、当日のタイムスケジュールを組んでみたり、参加者へのプレゼントの話など、実行委員それぞれの夢の日イベント成功のために、たくさんのお話を聞かれました。また、Facebookページの有効活用について、近況SNSが普及して便利になった反面、情報の扱いに気を付けていかなければならないね、といった新たな視点で広報の見直しをされています。また、最後には実行委員会内でも、なにか共通したテーマみたいなものがほしいという話になり、実行委員の杉村さんがマインドマップを使ってみんなで考えてみよう！と提案され、ホワイトボードを使用してみんなで意見を出し合いました。マインドマップというのは、イギリスのトニーブザンが発案した手法であり、人間の脳の構造に基づいた国際的な思考ツールで、様々な場面に活用出来るそうです。具体的な場面では、アイデア出し、情報整理、コミュニケーション、受験勉強や知識記憶などといった幅広いところで使われるそうです。テーマ一つを決めるのにも、こういった方法で話し合っていくところが、とても素敵だと思えます。会議って意見を出すと、結構遠慮だったり、恥ずかしさもあると思うんです。間違っただけのこと言っちゃったらどうしよう、みたいなこと、あると思いません。

番外編 はまさんハッピーバースデー
実行委員会の翌日、八月十二日(日)は、理事で実行委員長のはまさんこと浜本敬さんのお誕生日。ということもあって、休憩時間にケーキと歌のプレゼントがありました！突然のサプライズに浜本さんはビックリだったようです。いくつになっても祝ってもらえることは嬉しいですよ。そして、大切な人の特別な日を覚えておくことも、素敵だと思います。浜本さん長生きしてくださいね！



会議じゃなくたって、学校でクラスの目標を決めるときなども同じことを感じたり、簡単に参加出来て、でも焦点はぶれないまま事を運べて素晴らしいやり方だと思えました。私自身、この会議に初めて参加させていただいて、初対面の方ばかりの中で意見を言う事なんて絶対無理だと思ってたのですが、このときは皆さんに交じってテーマの意見を述べさせていただきました！不思議です。ハロドリさんたちにとってはこういうことは普通なかもしれませんが、私にはとても新鮮でした。こんな所でもまた一つハロドリさんの素敵なところを発見してしまいました。

私もやってみました！ For Smile「フーシエ」

夢を描く「フーシエ」講座とは、自分の好きなもの、行きたい場所、ほしい物などを自由に雑誌やパンフレットから切り抜いて画用紙に貼るといったワークです。自分の気になるものたちをまとめた素敵な作品は、もしかしたら自分の夢とどこかでつながっているかもしれないですね。夢を描く！といったところまでいかないにしても、好きなものを通して自分のやりたいこと、興味のあることが発見出来たりしたらいいですね。いえいえ、好きなものってなんだろうという疑問の答えが見つかるだけでも十分です。それで自分が笑顔になれたら、素敵だと思います。

「フーシエ」講座の流れとしては、まずは自分の気になるものをとにかく集めて、貼って、それから参加者皆にちょっとしたプレゼントをします。そして感想をもらって、最後に作って頂いた感想を話すという感じでした。私も体験させて頂いたのですが、とても楽しかったです。何が楽しかったって、それはもう好きなものに囲まれていることが幸せでした。幸せという大げさかもしれませんが、ずっとさうきニヤニヤしてしまう感じです。そして、完成してからのプレゼントはというと、最初はドキドキだったのですが、自分の好きなものを語っているうちにとても熱くなっていました。「フーシエ」作成はいつもは素通りしてしまいがちなものも、切っ掛けという作業を取り入れることで、改めて気づかされるものがあるなと感じました。また、人からそれいいね、と賛同してもらったり、話を聞いてもらえる場があるということが嬉しかったです。普段から自分の「好き」について語る機会ってなかなかないと思うので、気持ちいいなとも思いました。さらに、「フーシエ」は絵や写真だけでなく、文字などを貼りつけることも、文字を貼ることで、

今私はこんな気持ちなんだとか、こういうことを求めているのかな、などにも気づけます。実は、この講座を対象にしているのは障害を持ったお子さんを授かったことのあるお母さんであったり、口体験のあるかた向けということになっているのですが、その方たちに限らず皆さん自分を見つめ直したり、新しい自分を探すきっかけになるのではと感じました。



事務局秘話...

ほぼ習慣！出勤直後10分間のお話タイム

事務局では出勤後に、出勤するまで(近況)にあった出来事を振り返ってお互いに伝えてみようというチェックインというものを行っています。ただのお茶タイムではありません(笑)相手に聴いてもらうことで、自分の心の中を整理出来て、気持ちよく仕事が始まるといった感じです。いっぱい話したいこともあるんだけど...そんな時はお昼に持ち越し！自分が抱えている思いを、一緒に仕事をする仲間と共有してもらってるとそうでないのでは全然違うと思います。こういうちょっとしたやりとりで、モチベーションがあがったり、心に余裕が出来るのかもしれない。皆さんも試してみてくださいはいかがですか？

一 藤田の「フーシエ」(動物・色・食べ物など好きなものを集めてみました！)